

第3回土浦市消防本部署所再編検討委員会での主な意見とその対応について

1 報告

(1)第2回土浦市消防本部署所再編検討委員会議事録について

(2)第2回土浦市消防本部署所再編検討委員会での主な意見とその対応について

2 議事

(1)消防署所の配置と運用効果について

(2)人口及び年齢の推移について

NO.	主なご意見等	回答・対応
1	中地区はどうして人口が増えるのですか。	中地区は仲の杜で団地の開発を行っていますので、その部分で人口増が予想されます。
2	限定的にですよ。	今のところはそうです。

(3)土浦市の財政状況について

(4)将来を考えた署所数の考察について

NO.	主なご意見等	回答・対応
1	4. 5分の到着率の表で、これは、すべての緊急車両の平均の表ですか。救急車、ポンプ車、はしご車等を加味した表ですか。	この表は、火災、救急の過去5年間のデータから各地区の消防需要を割り出して数値化したものです。火災出場が5万点、救急出場が5万点、合わせて10万点で計算しています。
2	4署所、5署所を照らした場合、ポンプ車、救急車の配備台数は現状を考えた上での計算ですか。	この数字は、一番早くどこが到着するかを表です。4署所、5署所になると署所の場所が変わります。それぞれ一番近い所から何分かかかるかという事です。(委員長)
3	救急車に関しては、一番近い所の救急車が出場していると、他の消防署から出場した場合の計算も入っていましたが、今回も入っていますか。	救急需要があった場合の一番近い救急車が出場するまでの計算です。

4	台数を増やすとかは、別の話ですか。	別の話です。（委員長）
5	コストを削減していくことと、住民サービスの低下を招かないということとを両立しながら署所の再編を考えたいということだと思いますが、財政運営に資するということが資料6でお話しが無かったと思うのですが、これについては、またあとで別途お話しがあるということでしょうか。	6 署所の維持コストを考えると、少なくなればコストは減ってくるということは言えると思います。その辺りを含めて次の「スリム化を目指す署所の再編について」を、説明させていただきたいと思います。
6	署所が減れば、減らした分の維持管理コスト、光熱費を含めたものが減ってくる。そこにあったポンプ車、救急車は再配置して他に移していくようなことですね。	【資料4，126ページ】
7	資料6の星取表の中で、例えば5署所体制でしたら、統廃合したときのコストがどれくらい浮くのかと新署所を新設した場合の建設にかかるコストの比較が必要だが、新設により財政的に圧迫してしまうことが気になるので署所を1箇所減らすとコストがどれくらい浮くか今後検討する必要があるのでは。	コストについてもより詳細な数字を出します。
8	人口補正だけではなく、道路補正も考慮しながら検討するとおのずと場所が出てくると思う。市全体として行政としてどれくらいやってしかも、安心、安全が保てるかということもきちんと考えてないといけない。	今後の懸案事項としていきます。

(5)スリム化を目指す署所の再編について

NO.	主なご意見等	回答・対応
1	4署体制では理想的な配置をしてもサービスレベルが落ちてしまう。それに対し5署体制では、現状のサービスレベルを維持できる。6署所体制を5署所体制にしていく事については、いかがでしょうか。（委員長）	異議なし。（全委員）

2	新治署廃止のデメリットの理由として18年に合併したばかりなので、人と心が離れることをあげないとまずいのでは。	提言書の中に記載させていただきます。
3	いきなり並木出張所がなくなるのは、不安に感じる人がいると思う。可能であれば条件付きで新治署の耐用年数が来た場合には、新設を言ったほうがよい。	提言書の中に記載させていただきます。
4	1署減らすことの影響は、どの地区でも一緒だと思う。どこだったら比較的影響が少なく済むか考えざるを得ない。今後は5署に減らしたとして、現状の消防力をもっと効率的に運用できるかという配置の工夫も必要ではないか。廃止した場合の影響を考えると、新治署を残すほうがよい。	配置については、現状の消防力の効率的運用が図れるよう今後研究していきます。
5	分団があると思うのですが、並木はどの分団が入っていますか。また、場所はどの辺ですか。	並木については第13分団が管轄しております。都和支所の脇に詰所があります。
6	地図の中で赤くなっている所の分団はどこですか。車庫はどこですか。	今泉地区かと思いますが、第14分団が管轄しております。今泉317番地にありまして、栗野町、紫ヶ丘、今泉、小山崎、中津1、2、3丁目、笠師町この辺を管轄しています。
7	消防行政の公平性からみると、新治署を廃止すると、新治中地区のサービスレベルが著しく落ちてしまう。並木出張所を廃止して、4.5分のレベルは落ちるが、6分レベルは現状とそんなに変わらない事でご理解いただきたい。(委員長)	
8	並木出張所を閉鎖する方が現実的かなと思います。この資料にも消防団のことが入っているとより安心度が増すのかなと思います。	【別紙1】

9	統合するとかそういうことになると、ここで予期しない問題が出てくると思います。かなりの煮詰めたデータを作って感情をうまく収めていくということが必要です。そういうことを考えた上で、私も並木の廃止となるのではないかと思います。	今回の資料で作ったデータを活用していきます。
10	並木を廃止する場合、それなりの理由づけが大事だと思います。道路ができたとか、耐用年数とか、どれくらいまで災害に対応できるのかとか。その上で私は並木の廃止でいいかと思います。神立消防署の適正位置というのは現状が一番だと思います。	懸案事項としていきます。
11	6署所を5署所に減らすということなので、どこかで不安に思う人は出てくるのはいたしかたないのかなと思います。配置だけではなくていろんな工夫があり得ると思うので、そういったことも併せて提示していただけると不安が減るのかなと思います。	積極的な防火思想の普及啓発に努めます。【別紙2】
12	火災に関しては消防団の方にご協力いただければいいと思うのですが、私が一番心配しているのは、救急事案で心肺停止事案です。資料の地図を見ていると、（並木地区は）公共施設もあまりないのでAEDの設置とかもたぶん少ないと思います。ただ、減らすとなれば並木しかないかなというのはあります。	救命講習の受講推進を図っていき救命率の低下を防ぎます。【別紙3】
13	委員の話を伺っておりまして、ごもっともなご意見だと拝聴させていただきました。消防力というお話でしたけれども、1隊3名とか極少ないメンバーでやっておられるというところも一つの懸念もあるかと思えます。病気もそうですけれども、交通事故に対する対応等々、距離感だけではなくてこれからの事情というところの配慮もいただいて、考察されるといいのかなと考えています。	人員の配置等を工夫していき、今後の再編計画の参考とします。

(6)その他

NO.	主なご意見等	回答・対応
1	スケジュール及びパブリックコメント用の答申案をどうしていくのか、説明をお願いします。(委員長)	5 署所体制に向けた再編について、素案を作りまして次回の検討会で審議をいただきたいと思います。次回については、12月の中旬ごろに開催したいと思います。素案についてご審議していただき、承認いただければ、1月から2月にかけて3週間ほどパブリックコメントをかけていきたいと思っています。
2	廃止することによるコスト軽減の効果を触れてほしいなと思います。署所を減らしても、消防車、救急車を維持することを明確にしてコスト軽減の効果を触れてほしい。	ランニングコストについては平成26年の実績で調べてあります。改修工事について見積もりは取っていませんが、これまでの実績から数字を出して いきたいと思っています。
3	並木出張所のポンプ車や救急車をもっと合理的に再配置する資料が必要である。(委員長)	【資料4, 126 ページ】